

(令和7年度一般選抜 [前期日程] )

# 入 構 許 可 申 請 書

令和 7年 月 日

岩 手 大 学 長 殿

(申請者)  
学生証番号 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 学部 \_\_\_\_\_ 学科・課程 \_\_\_\_\_ 年次

\_\_\_\_\_ 研究科 \_\_\_\_\_ 専攻 \_\_\_\_\_ 年次

氏名 \_\_\_\_\_

下記の理由により、一般選抜 [前期日程] に係る入構規制日に入構したいので、許可願います。

記

入館日時及び場所 (例：2月○日△時～△時 ○学部○号館○○研究室)

..... 2月 ..... 日 ( ..... ) ..... 時～ ..... 時 .....

理由 (詳細に記入してください。)

.....  
.....  
.....

上記の者について、入学試験に影響を与えないよう指導しますので、入構等を許可願います。

指導教員等 \_\_\_\_\_ 印

コース長・専攻長・プログラム長、入試委員 \_\_\_\_\_ 印

○入構規制

- (1) 2月25日(火)(教育学部は建物により2月21日(金)13時～2月26日(水)まで、理工学部は2月24日(月)17時～2月25日(火)まで)は、**原則として入構を禁止**します。
- (2) 特別な理由により入構等しなければならない者は、「入構許可申請書」に入構等理由等を記入し、**2月17日(月)17時**までに、裏面記載のとおり、所属先の許可を得たうえで、各担当窓口へ申請し、リボンを受け取ってください。  
なお、入構等中は必ずリボンを着用してください。

※ コース長・専攻長・プログラム長(理工学部・理工学研究科・総合科学研究科の一部)と、入試委員(農学部)は裏面に掲載しています。

※ 申請受付期限を過ぎたものは、いかなる理由があっても受理しません。

※ リボンの再交付はしません。

※ **リボンは、2月28日(金)までに学生センターA棟窓口へ必ず返却すること。**

リボンの返却	年 月 日
--------	-------

## <学部>

- ・人文社会科学部 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟③窓口に申請
- ・教育学部 原則として入構禁止
- ・理工学部 指導教員等及びコース長の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請
- ・農学部 指導教員等及び入試委員の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請

## <大学院総合科学研究科>

- ・総合文化学専攻 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟③窓口に申請
- ・地域創生専攻 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟⑤窓口に申請  
(ただし、金型・鋳造プログラムと社会基盤・環境工学プログラムは指導教員等とプログラム長の署名・押印)
- ・理工学専攻 指導教員及びコース長の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請
- ・農学専攻 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請

## <大学院教育学研究科>

- ・教職実践専攻 原則として入構禁止

## <大学院理工学研究科>

指導教員等及び専攻長の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請

## 理工学部 コース長

化学・生命理工学科 (化学コース)	白井 誠之
〃 (生命コース)	福田 智一
物理・材料理工学科 (数理・物理コース)	中西 良樹
〃 (マテリアルコース)	鎌田 康寛
システム創成工学科 (電気電子通信コース)	西館 数芽
〃 (知能・メディア情報コース)	山中 克久
〃 (機械科学コース)	花原 和之
〃 (社会基盤・環境コース)	大西 弘志

## 理工学研究科 専攻長

自然・応用科学専攻	福田 智一
システム創成工学専攻	花原 和之
デザイン・メディア工学専攻	齊藤 貢

## 総合科学研究科 プログラム長・コース長

(地域創生専攻)	
金型・鋳造プログラム長	内館 道正
社会基盤・環境工学プログラム長	大河原 正文
(理工学専攻)	
物質化学コース	白井 誠之
生命科学コース	福田 智一
数理・物理コース	石垣 剛
材料科学コース	小林 悟
電気電子通信コース	西館 数芽
機械・航空宇宙コース	花原 和之
知能情報コース	山中 克久
デザイン・メディア工学コース	齊藤 貢

## 農学部 入試委員 (所属学科・コースに限らず署名可)

植物生命科学科	下野 裕之	
応用生物化学科	宮崎 雅雄	
森林科学科	東 淳樹	
食料生産環境学科	〔農村地域デザイン学コース〕 〔食産業システム学コース〕	前田 武己
〃 (水産システム学コース)		袁 春紅
動物科学科	出口 善隆	
共同獣医学科	森田 智也	山田 慎二